

京都自然教室 水生生物調査 記録用紙 ※3

調査名	京都自然教室 第388回観察会 高野川の水生生物・定点調査
調査人数	37人
調査記録者名	観察会参加者+京都自然教室スタッフ

指標生物					調査地点の概要 (生物を採集した場所の状況について記入して下さい)			
階級	番号	生物名	※1	見つけた数	調査日時			
水質階級 I ※2	1	アミカのなかま			2018年 8 月 5 日 9:30~12:00 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)	調査河川名 高野川		
	2	ウズムシ(プラナリア)のなかま	○	1				
	3	カワゲラのなかま			調査地点名 八瀬(叡電・八瀬比叡山口駅周辺)	天気 ■ はれ □ くもり □ 雨 調査時の天気をチェックして下さい		
	4	サワガニ	●	16				
	5	ナガレトビケラのなかま			水温 25.0℃(小数点1桁まで記入して下さい)	川幅 約 15.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)		
	6	ヒラタカゲロウのなかま	○	1				
	7	ブユのなかま			生物採集場所 ■ 川を中心 ■ 上流から見て右岸 ■ 上流から見て左岸 採集した場所をチェックして下さい	水深 約 20 ~ 75 cm 採集した場所の平均的な水深を記入して下さい		
	8	ヘビトンボ	○	10				
	9	ヤマトビケラのなかま	○	4	以下は、生物を採集した場所にあてはまるものをチェックして下さい			
水質階級 II	10	イシマキガイ(汽水域)	-	-	流れのはやさ ■ 速い(毎秒60cm以上) □ 普通(毎秒30~60cm) □ 遅い(毎秒30cm以下)	川底の状態 ■ 頭大の石が多い ■ こぶし大の石が多い □ 小石と砂 □ コンクリート □ 砂と泥 □ 泥 □ コケ □ その他		
	11	オオシマトビケラ						
	12	カワニナのなかま	●	多数	水のおい ■ においは感じられない □ においが感じられる (ドブ、石油、薬のような特異なにおい)	水にごり ■ 透明またはきれい □ 少しにごっている □ 大変にごっている		
	13	ゲンジボタル						
	14	コオニヤンマ	○	10	昨年度の調査結果 (2017年8月6日) ■ 同じ場所 □ 違う場所( ) 昨年度の水質階級は ■ I □ II □ III □ IV ●印の付いた指標生物名は ヤマトビケラの仲間(多数)、コニヤンマ(多数)			
	15	コガタシマトビケラ						
	16	スジエビ			水質階級の判定			
	17	ヒラタドロムシ			この地点の水質階級は <b>I です</b>			
	18	ヤマトシジミ(汽水域)	-	-	その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)			
水質階級 III	19	イソコツブムシ(汽水域)	-	-	魚類、両生類など			
	20	タイコウチ			■ I : ヒゲナガカワトビケラ (多数)	■ II : ガガンボ幼虫 (2)	■ I : カジカガエル (6)	
	21	タニシのなかま			■ I : ニンギョウトビケラ (3)	■ II : ハグロトンボ (1)、成虫(1)	■ I : ヨシノボリの仲間 (1)	
	22	ニホンドロソコエビ(汽水域)	-	-	■ I : ナベブタムシ (6)	■ II : サナエトンボの仲間(ヤゴ) (5)	□	
	23	ヒルのなかま			■ I : アメンボの仲間 (3)	■ II : コヤマトンボ (1)	□	
水質階級 IV	24	ミズカマキリ			■ I : ヘビトンボ (2)	■ II : チラカゲロウ (2)	□	
	25	ミズムシ			□	□	□	
	26	アメリカザリガニ			□	□	□	
水質階級 IV	27	エラミミズ			水草類	鳥類	その他、気づいたこと	
	28	サカマキガイ			□	□	□	
	29	赤いユスリカのなかま			□	□	□	
水質階級 IV	30	チョウバエのなかま			□	□	□	
	30	チョウバエのなかま			□	□	□	

※1) 1個体でも見つかった指標生物に○印、全体で数が多かった上位2種類(同数の場合は3種類まで)に●印をつけて下さい

※2) 水質階級 I : きれいな水、II : 少し汚れた水、III : 汚れた水、IV : たいへん汚れた水

※3) 本調査用紙は環境省・国土交通省の水生生物調査票、水生昆虫の観察(トンボ出版)を参考に改変しています